

◆2025年 年頭所感

「みどり」を通じて
地域貢献を

佐賀県造園建設業協会会長 鵜池 邦敏



新年あけましておめでとう
ございます。
県民の皆様におかれまして
は、健やかに新年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。
日頃より、佐賀県造園建設

業協会の事業運営につきま
し、格別のご協力、ご支援を
賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年、例年に引き続き、
石川県能登地域始め各地で地
震や台風により甚大な被害が
もたらされましたが、昨年の
佐賀県は、幸いにも一昨年の
ような唐津市から佐賀市にか
けて発生した線状降水帯等に
よる自然災害土砂災害等は比
較的に少なく、幸いの年でし
た。

しかしながら、地球温暖化
の影響は各方面に影響を及ぼ
しており、水害等のリスクは
常により、今年も引き続き国土
強靱化の取組を進めていく必
要があると考えています。

このような中、私も協会
は、地震、風水害その他災害
が発生する場合において、佐
賀県が行う応急対策等に対す
る応援協力及び緑化啓発活動
等について、その運営を適正
かつ円滑に運営するために、

佐賀県と平成30年5月に締結
した「災害時の応援協力及び
緑化啓発活動等に関する協
定」に基づき、私も協会員
は、県から要請を受け公共施
設等の倒木等の障害物の撤去
や応急復旧、保護活動等をお
こない、今後とも、応援協力
を行い県政に寄与したいと思

います。

一方、県土の緑化推進活動
につきましても、当該協定に
基づき、令和6年度も佐賀市
の金立公園のコスモス祭り会
場、鳥栖市の市民公園及び白
石町有明スカイパークふれあ
い郷で花の寄せ植え教室や花
苗の無料配布等を行い、多く
の方々の参加があり、緑化啓
発に寄与してまいりました。

また、「花と緑を育む地域
づくり推進事業」に基づき県
の補助を受け、県内の各地域
(今年度は、佐賀、鳥栖、唐
津、武雄地域)の道路等の緑
地帯において、行政・地域ポ
ランティア団体と一体とな
り、季節の花苗等を植え花壇
を創るなど緑化活動を行い、
この活動も6年目になり地元
に定着してまいりました。

このような中、秋には20
24国民スポーツ大会・全国
障害者スポーツ大会が開催さ
れ、成功のうちに終了いたし
ました。この大会の開催を通
じて県内のスポーツの力を生
かし、新たな佐賀県の未来を
切り開くため、私も協会も
緑化啓発活動を通じて大会の
成功及び県民の緑化意識の向
上に取り組んでまいりました。

さらに、佐賀県の魅力をな
おし、全国に発信するため
に、2028年には「全国都
市緑化フェア」の佐賀県での
初開催が予定されています。
ご承知の通り全国都市緑化フ
エアは、花や緑に関する国内
最大のイベントであり、「緑
のまちづくり推進」「市民の
緑化意識の向上」「都市緑化

に関する知識の普及」等を図
ることにより、緑豊かな潤い
のある街づくりの実現を目指
して全国各都市で開催されて
います。

私も協会も主催者である
都市緑化機構や県と一体とな
り、今まで以上に、県民の緑
化意識の向上に努め、佐賀県
での全国都市緑化フェアの実
現に県民の理解を得るよう
努力してまいります。

最後になりましたが、私た
ち協会・造園業界は、今後と
も「みどり」を通じて、地域
に貢献してまいりますので、
皆様のご理解・ご支援をよろ
しくお願いいたします。

皆様にとりまして、今年が
より良い年になりますよう
に、ご祈念申し上げます。

身近に感じてもらう
緑空間を創ろう

佐賀県造園協同組合理事長 松隈 邦博



令和7年の年頭にあたり、
謹んで新年のご挨拶を申し上
げます。
組合員の皆様におかれまし

ては輝かしい新年をお迎えの
こととお喜び申し上げます。
日頃より、当組合の事業運営
につきましましては格別のご支
援、ご協力を賜り厚く御礼申
し上げます。
1年前能登半島地震が発生
し、またその後、豪雨災害と
被災地におかれましては、お
見舞い申し上げます。災害の
多い日本のことを思います
と、私たちもいつ災害に見舞

われるかわからず、日ごろか
らの備えが必要です。被災、
復旧、復興とその後、機材も
有している私たちの仕事柄、
いち早く対応することも求め
られます。組合でも日頃から
そのような視点からも備えが
大切です。

さて、協同組合活動におき
ましては、今期も前期並みに
推移しておりますが、受注環
境をみますと新規定園関連工
事の減少、人手不足、働き方
改革等々、依然厳しいものが
ありますがそれ乗り越えて
ゆかなければなりません。
若手育成では、8月群馬県
での、全国若年者ものづくり
競技大会に、高志館高校生が

学校の取り組みとして初めて
出場し、健闘しました。11月
は技能五輪全国大会が愛知県
常滑市で開催され、(株)天本緑
地造園の吉岡真那斗選手が敢
闘賞を受賞しました。

ほぼ毎年取り組んでいるこ
れらの競技大会では、事業所、
組合技術技能委員会による指
導、佐賀県職業能力開発協会
様による全面的なバックアッ
プをいただきながら成り立つ
ており感謝に堪えません。今
後も事業の大きな柱として取
り組んでいきます。技能講習
会は、5月に「雑木の庭づく
り」講習会を、福岡県、高尾
宗克氏を講師に佐賀市内の一
般家庭での作庭を行い、今後

取り組んでいける講習会手法
となりました。

技能検定は、1・2級、13
名が受験され60%の合格率
で、昨年より合格率が上がり、
受験者の真剣さが感じられま
した。

青年部活動は近年の部員減
少対策として、事業所の、社
員さんにも入会してもらい7
月の総会時には5名の増員
を、土井青年部長を中心に図
られました。事業所にはご理
解をいただき感謝いたしま
す。また1月に熊本で開催の
九州石積、石貼大会に4名の
出場を目指し現在練習に励ん
でいます。期待したいもので
す。

多くの先輩方が築いてくれ
た佐賀県造園協同組合の歴史
を顧みますと誠に輝かしいも
のがあり、私たちも身の引き
締まる思いです。

共同購買事業、技術技能の
研鑽、継承、人材育成を柱と
して今後またゆめ努力をし
てまいります。2年後には組
合設立50周年を迎えます。今
後も組合、組合員一丸となっ
て取り組んでまいりますので
組合員様の益々のご支援、ご
協力をお願い申し上げます。
最後になりましたが今年も皆
様にとりまして、より良き年
になりますようご祈念申し上
げます。

